

施設アンケート結果 速報値

【回答数：125】

■ 施設アンケート概要

対象：保育所・地域型保育事業・認定こども園・認可外保育施設・幼稚園

依頼方法：施設あてに調査票と回答票を電子メールにて送付

回答方法：回答票を電子メールにて返送

【回答結果】

施設類型	回答数
公立保育所	25
民間認可保育所	27
民間認可小規模・事業所内保育事業	15
民間認可認定こども園	3
民間認可外保育施設	38
幼稚園	17
合計	125

■ アンケート結果

1. 施設の運営について

- ・各施設の類型別に、人員配置の状況や保育(教育)時間、定員充足率等以下の項目について伺い、各施設の状況について個別の回答を得ている。

- (1) 人員配置の状況について
- (2) 延長保育を含まない基本の保育時間(保育標準時間)について
- (3) 保育標準時間に係る延長保育について
- (4) 休日保育等について
- (5) 定員充足率について
- (6) 昼食の提供について

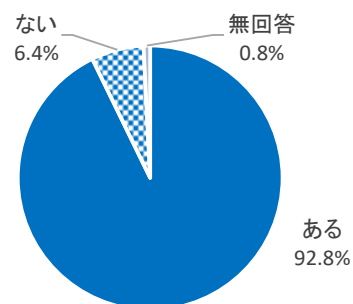
次項より以降の各施設共通の設問について記載する。

(7) 施設のIT環境について

① 事務室等に事務処理用のパソコンはありますか。

- ・ 回答施設の 92.8%が事務室等に事務処理用のパソコンが「ある」と回答している。

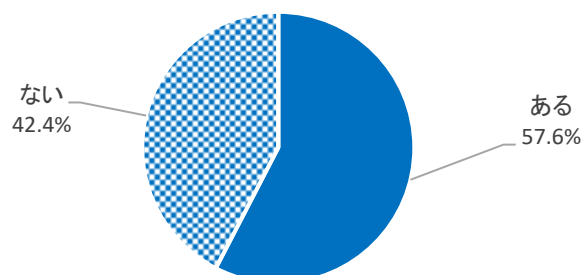
ある	116	92.8%
ない	8	6.4%
無回答	1	0.8%



② 保育者が業務に使用するタブレット又はスマートフォンはありますか。

- ・ 回答施設の 57.6%が保育者が業務に使用するタブレット又はスマートフォンが「ある」と回答している。

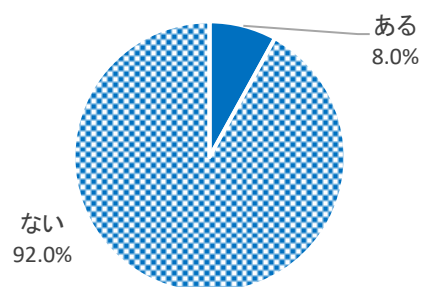
ある	72	57.6%
ない	53	42.4%



③ 教材教具として児童が使用するタブレット又はスマートフォンはありますか。

- ・ 回答施設の 92.0%が教材教具として児童が使用するタブレット又はスマートフォンは「ない」と回答している。

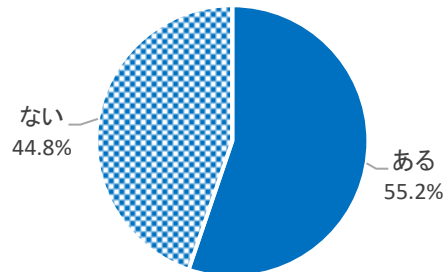
ある	10	8.0%
ない	115	92.0%



④ 保育室（教室）に安全管理のためのモニターカメラはありますか。

・回答施設の 55.2%が保育室（教室）に安全管理のためのモニターカメラが「ある」と回答している。

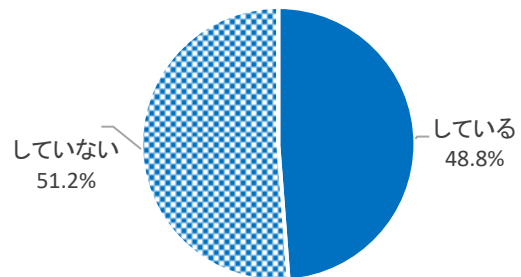
ある	69	55.2%
ない	56	44.8%



⑤ 児童の登降園管理などを行う保育業務支援システムを導入していますか。

・回答施設の 51.2%が児童の登降園管理などを行う保育業務支援システムを導入「していない」と回答している。

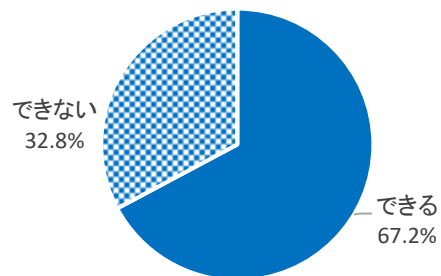
している	61	48.8%
していない	64	51.2%



⑥ オンラインによる会議や研修に対応できますか。

・回答施設の 67.2%がオンラインによる会議や研修に対応「できる」と回答している。

できる	84	67.2%
できない	41	32.8%

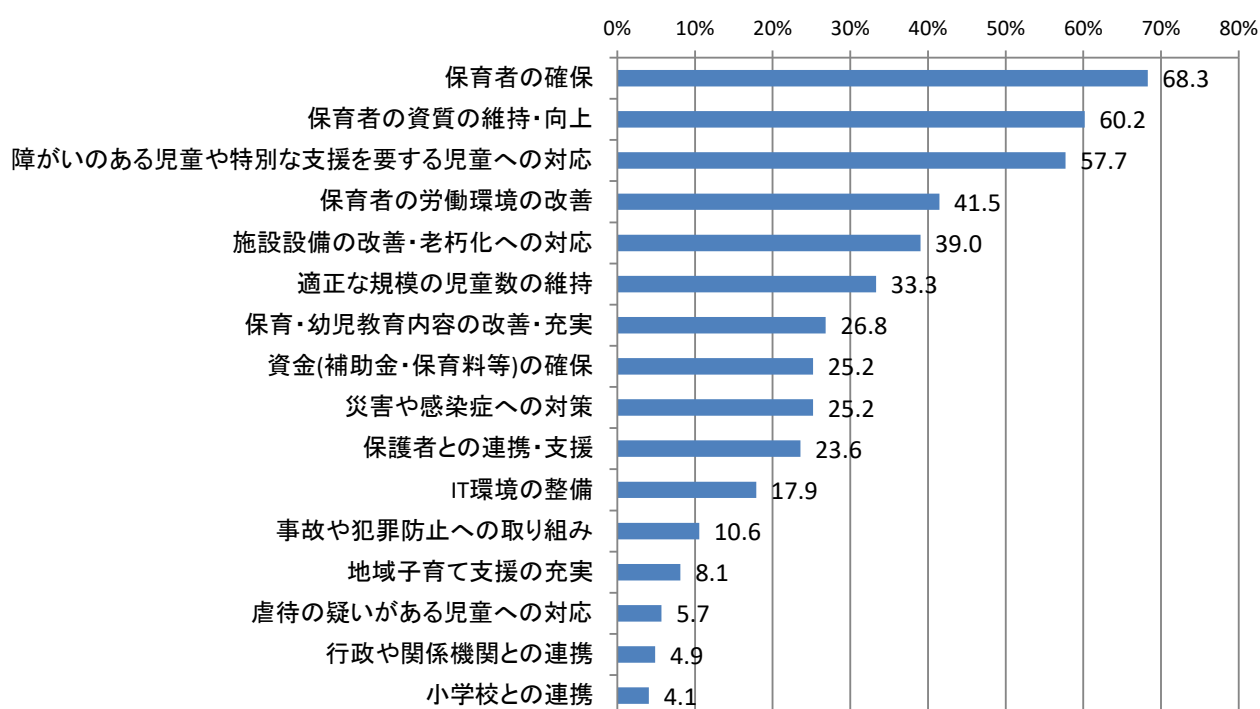


(8) 施設運営上の課題について

① 施設運営上の課題と感ずるものを5つまで選択してください。

- ・施設運営上の課題として、「保育者の確保」が最も回答が多く、68.3%が選択している。「保育者の資質の維持・向上」が60.2%、「障がいのある児童や特別な支援を要する児童への対応」が57.7%、「保育者の労働環境の改善」、「施設設備の改善・老朽化への対応」がそれぞれ続いている。

保育者の確保	84	68.3%
保育者の資質の維持・向上	74	60.2%
障がいのある児童や特別な支援を要する児童への対応	71	57.7%
保育者の労働環境の改善	51	41.5%
施設設備の改善・老朽化への対応	48	39.0%
適正な規模の児童数の維持	41	33.3%
保育・幼児教育内容の改善・充実	33	26.8%
資金(補助金・保育料等)の確保	31	25.2%
災害や感染症への対策	31	25.2%
保護者との連携・支援	29	23.6%
IT環境の整備	22	17.9%
事故や犯罪防止への取り組み	13	10.6%
地域子育て支援の充実	10	8.1%
虐待の疑いがある児童への対応	7	5.7%
行政や関係機関との連携	6	4.9%
小学校との連携	5	4.1%



② 選択肢にない課題がありましたら自由に記載してください。
(施設運営上の課題と感ずるもの)

- 年度当初に定員人数を確保できない
- 少子化により園児数を確保できない
- 児童送迎時の保護者のための駐車場が不足している
- 近隣住民との関係 等

③ コロナウイルス感染症の流行に伴い、新たに発生した課題がありましたら自由に記載してください。

- 保護者とのコミュニケーションが思うように取れない
- 保護者が参加する行事の開催が難しい
- 清掃や消毒が増え保育士負担が増えた
- 子どもの集団での活動が制限され、経験不足が懸念される
- 衛生用品が手に入りにくくなった
- 保護者の職場等で感染者が出た場合の登園の可否の判断が難しい 等

④ 今後の施設運営について、中期的な計画として予定または検討していることがあれば自由に記載してください。(例：定員の縮小・拡大、事業の廃止、認可施設への移行、こども園への移行、新制度幼稚園への移行、移転等)

- 認可保育園への移行を切望している
- 認定こども園へ移行したい
- 状況を見て新制度幼稚園への移行の可能性もある
- 園児数の激減により閉園の可能性もある
- 地域の状況に応じた定員の縮小を検討している 等

⑤ 課題解決に向けて、市への要望・意見等がありましたら自由に記載してください。

- 0歳児が減少しているので、1歳児への補助がほしい
- 年度当初からの安定した園児数の配置をしてほしい
- 保育士の配置基準の見直しをしてほしい
- 保育施設が増えることで保育者が不足する状況を考えてほしい 等

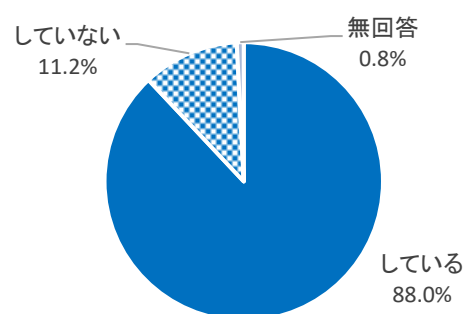
2. 保育・幼児教育の内容について

(1) 保育・幼児教育の内容について

① 保育所保育指針（幼稚園教育要領指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領）の内容について施設内で研修等を行い、共通認識を図っていますか。

・各種指針や要領の内容について施設内で研修等を行い、共通認識を「している」と回答した施設は88.0%となっている。

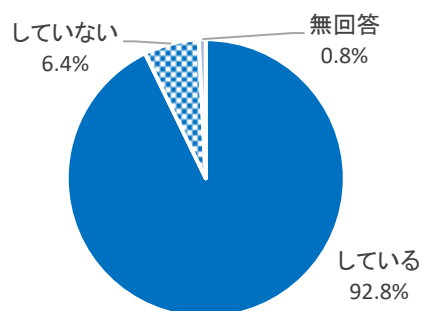
している	110	88.0%
していない	14	11.2%
無回答	1	0.8%



② 保育所保育指針（幼稚園教育要領指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領）の趣旨に沿って、保育・幼児教育の振り返りの機会をもつようにしていますか。

・回答施設の92.8%が各種指針や要領に沿って保育・幼児教育の振り返りの機会をもつように「している」と回答している。

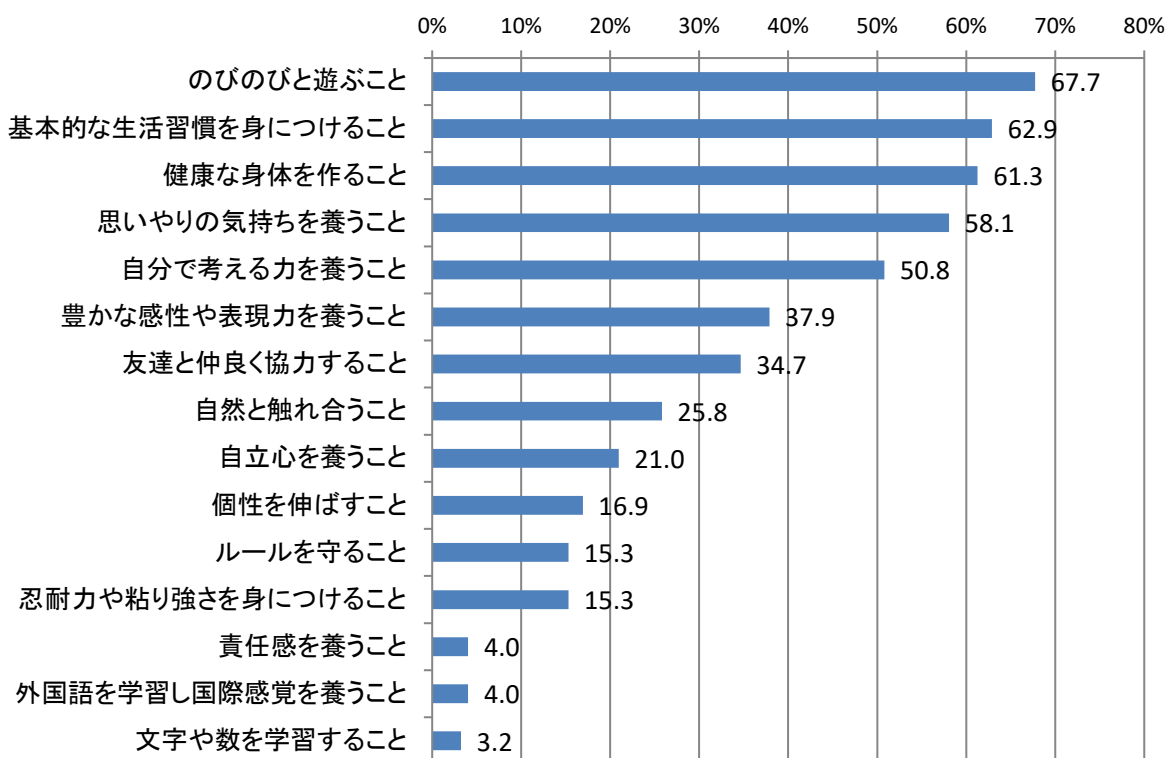
している	116	92.8%
していない	8	6.4%
無回答	1	0.8%



③ 保育・幼児教育の目標や内容として、特に重視しているものを5つまで選択してください。

・各施設が保育・幼児教育の目標や内容として、特に重視しているものとして「のびのびと遊ぶこと」が最も多く、67.7%の施設が選択している。「基本的な生活習慣を身につけること」が62.9%、「健康な身体を作ること」が61.3%で続いており、「思いやりの気持ちを養うこと」、「自分で考える力を養うこと」が続いている。

のびのびと遊ぶこと	84	67.7%
基本的な生活習慣を身につけること	78	62.9%
健康な身体を作ること	76	61.3%
思いやりの気持ちを養うこと	72	58.1%
自分で考える力を養うこと	63	50.8%
豊かな感性や表現力を養うこと	47	37.9%
友達と仲良く協力すること	43	34.7%
自然と触れ合うこと	32	25.8%
自立心を養うこと	26	21.0%
個性を伸ばすこと	21	16.9%
ルールを守ること	19	15.3%
忍耐力や粘り強さを身につけること	19	15.3%
責任感を養うこと	5	4.0%
外国語を学習し国際感覚を養うこと	5	4.0%
文字や数を学習すること	4	3.2%



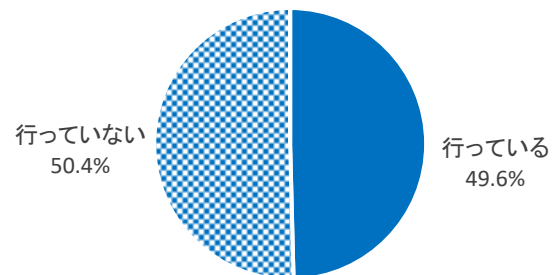
④ 選択肢以外に特に重視している保育・幼児教育の目標や内容がありましたら自由に記載してください。

- 世代間交流を行い思いやりの気持ちを育てる
 - 一人ひとりを大切に子ども主体の保育をする
 - 食に対して興味・関心を持たせる
 - 自己肯定感を育む
 - 感謝の心を育てる
- 等

⑤ 基本の保育時間中にひらがなの学習を行っていますか。

- ・ 回答施設の 50.4%が基本の保育時間中にひらがなの学習を「行っていない」と回答している。

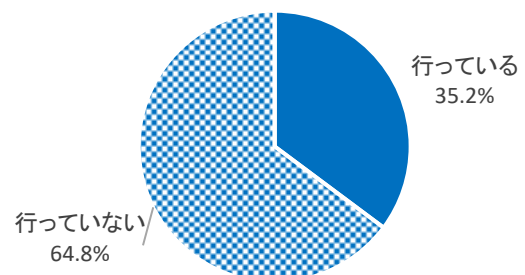
行っている	62	49.6%
行っていない	63	50.4%



⑥ 基本の保育時間中に数・計算の学習を行っていますか。

- ・ 回答施設の 64.8%が基本の保育時間中に数・計算の学習を「行っていない」と回答している。

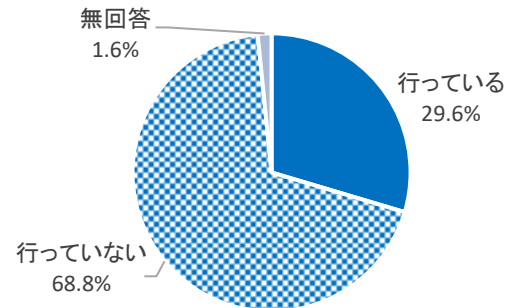
行っている	44	35.2%
行っていない	81	64.8%



⑦ 基本の保育時間中に英語の学習を行っていますか。

- ・ 回答施設の 68.8%が基本の保育時間中に英語の学習を「行っていない」と回答している。

行っている	37	29.6%
行っていない	86	68.8%
無回答	2	1.6%



⑧ 他施設と比較して特徴的だと思われる活動等がありましたら、その内容と目的を自由に記載してください。

- 空手の稽古で礼儀作法の習得と体力増進を図る
- 外国人講師を迎え、英語に親しむ活動を行う
- 食育としての栽培活動、田植え、もちつき
- 3・4・5歳児の縦割り保育や異年齢児交流
- 和太鼓やマーチング

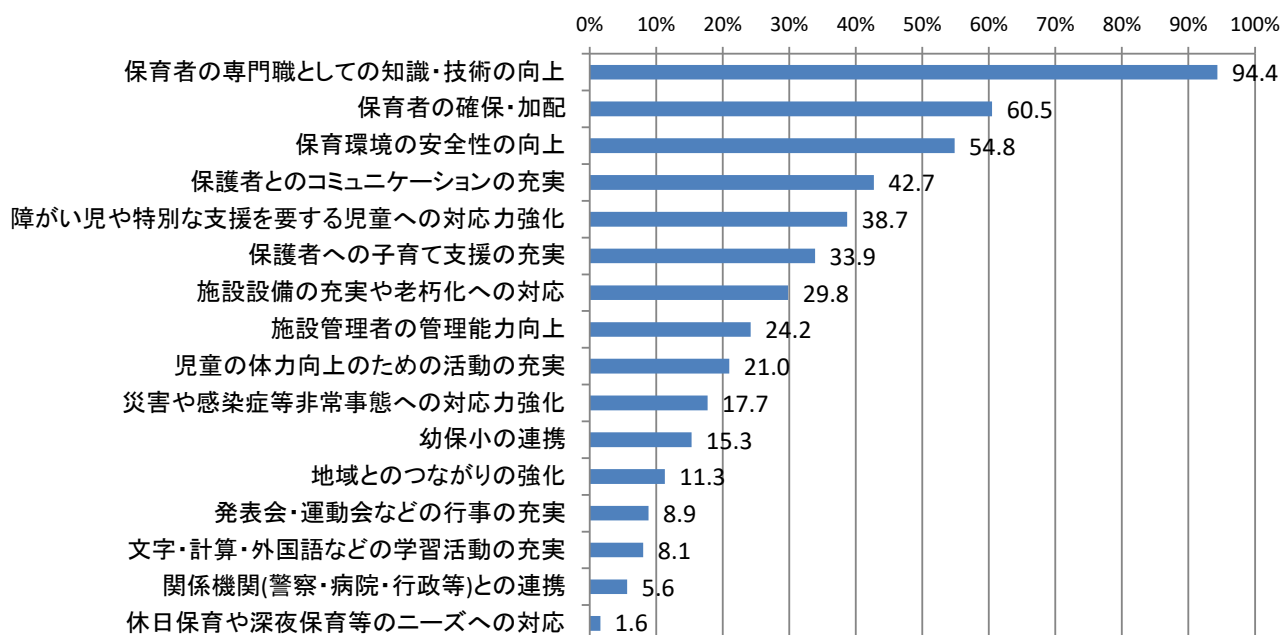
等

(2) 保育・幼児教育の質の向上について

① 保育・幼児教育の質の向上のために特に必要だと思うものを5つまで選択してください。

・各施設が保育・幼児教育の質の向上のために特に必要だと思うものとして、「保育者の専門職としての知識・技術の向上」が最も多く、94.4%の施設が選択している。「保育者の確保・加配」が60.5%、「保育環境の安全性の向上」が54.8%で続いており、「保護者とのコミュニケーションの充実」、「障がい児や特別な支援を要する児童への対応力強化」が続いている。

保育者の専門職としての知識・技術の向上	117	94.4%
保育者の確保・加配	75	60.5%
保育環境の安全性の向上	68	54.8%
保護者とのコミュニケーションの充実	53	42.7%
障がい児や特別な支援を要する児童への対応力強化	48	38.7%
保護者への子育て支援の充実	42	33.9%
施設設備の充実や老朽化への対応	37	29.8%
施設管理者の管理能力向上	30	24.2%
児童の体力向上のための活動の充実	26	21.0%
災害や感染症等非常事態への対応力強化	22	17.7%
幼保小の連携	19	15.3%
地域とのつながりの強化	14	11.3%
発表会・運動会などの行事の充実	11	8.9%
文字・計算・外国語などの学習活動の充実	10	8.1%
関係機関(警察・病院・行政等)との連携	7	5.6%
休日保育や深夜保育等のニーズへの対応	2	1.6%



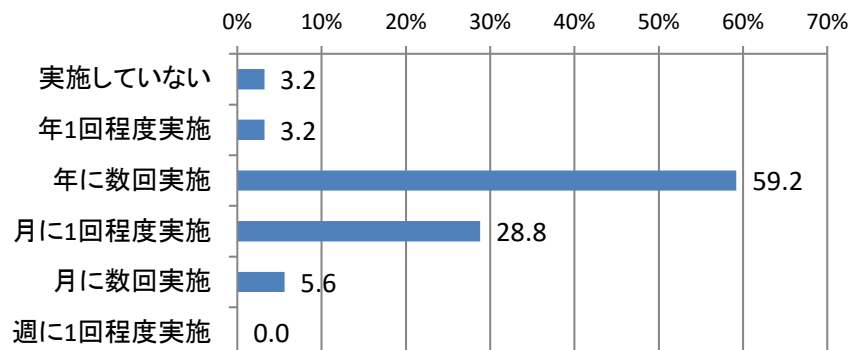
② 選択肢以外に保育・幼児教育の質の向上のために必要だと思う項目がありましたら自由に記載してください。

- 保育者の職場環境改善
- 保育士の配置基準見直し
- 保育士自身が余裕をもち、前向きな気持ちで保育に向き合えること
- 施設内研修で共通理解を深め目指すところを明確にする 等

③ 施設内での保育者研修をどのぐらい実施していますか。

- ・施設内での保育者研修の実施頻度について、「年に数回実施」が 59.2%で最も多く、「月に1回程度実施」が 28.8%で続いている。

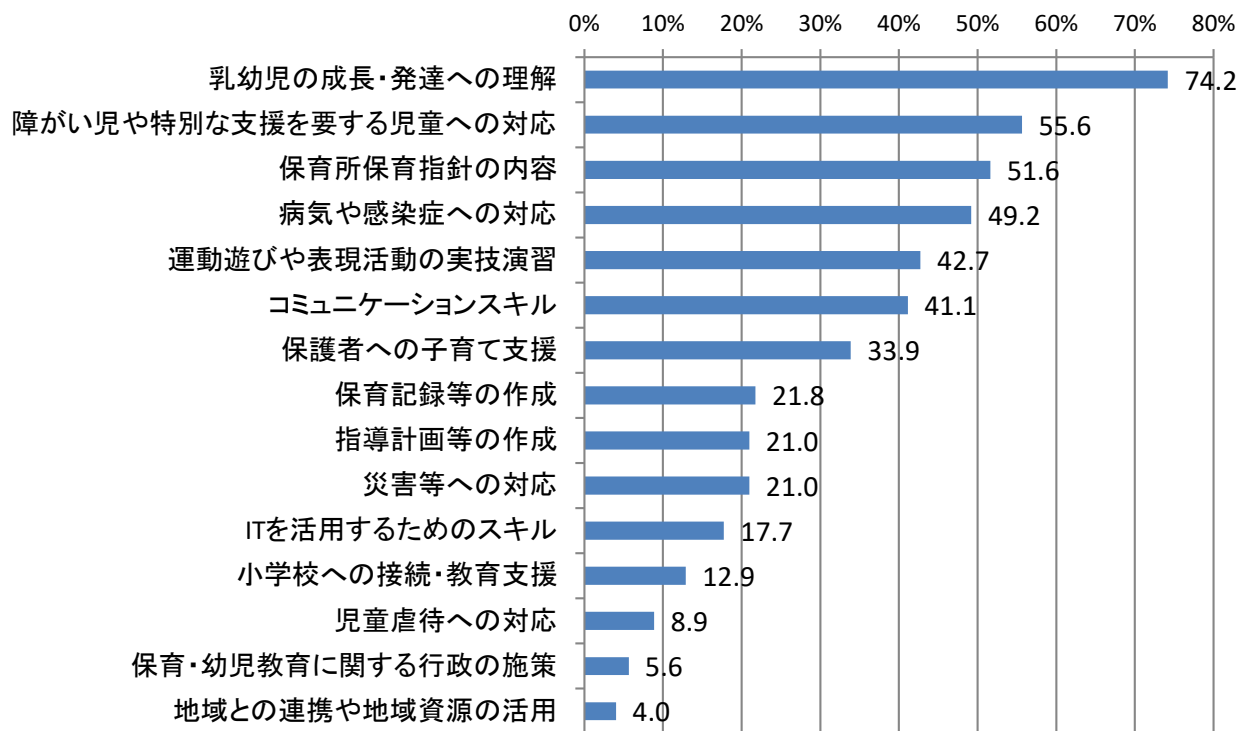
実施していない	4	3.2%
年1回程度実施	4	3.2%
年に数回実施	74	59.2%
月に1回程度実施	36	28.8%
月に数回実施	7	5.6%
週に1回程度実施	0	0.0%



④ 保育者向けの研修の内容について、特に有益だと思うものを5つまで選択してください。

- ・各施設が特に有益だと思う保育者向けの研修の内容について、「乳幼児の成長・発達への理解」が最も多く、74.2%の施設が選択している。「障がい児や特別な支援を要する児童への対応」が55.6%、「保育所保育指針の内容」が51.6%で続いており、「病気や感染症への対応」、「運動遊びや表現活動の実技演習」が続いている。

乳幼児の成長・発達への理解	92	74.2%
障がい児や特別な支援を要する児童への対応	69	55.6%
保育所保育指針の内容	64	51.6%
病気や感染症への対応	61	49.2%
運動遊びや表現活動の実技演習	53	42.7%
コミュニケーションスキル	51	41.1%
保護者への子育て支援	42	33.9%
保育記録等の作成	27	21.8%
指導計画等の作成	26	21.0%
災害等への対応	26	21.0%
ITを活用するためのスキル	22	17.7%
小学校への接続・教育支援	16	12.9%
児童虐待への対応	11	8.9%
保育・幼児教育に関する行政の施策	7	5.6%
地域との連携や地域資源の活用	5	4.0%



⑤ 選択肢以外に保育者向けの研修の内容として有益だと思う項目がありましたら自由に記載してください。

- リスクマネジメントについて
- 保育者自身のメンタルヘルスについて
- 食育や食物アレルギーについて
- 保育者同士の異年代交流会
- エピペンやAEDの実技講習 等

⑥ 全市的な保育・幼児教育の質の向上に向けて、市への要望・意見等がありましたら自由に記載してください。

- 保育士向けの研修を充実させてほしい
- 保育者が書類作成等の事務仕事に追われ、保育が疎かにならないよう考慮してほしい
- 保育の質の向上や保育環境の改善のために補助金を増額してほしい
- 最低基準の保育士配置では思うような保育が難しいので基準を見直してほしい 等

3. 障がいのある児童や特別な支援を要する児童について

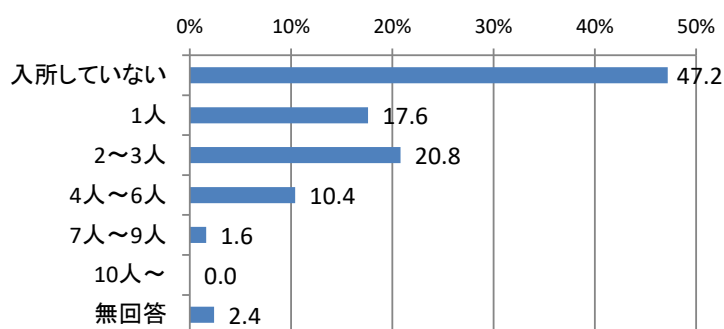
(1) 障がいのある児童*についてお伺いします。

※身体障がい、知的障がい、精神障がい〔発達障がいを含む〕の診断を受けている児童

① 令和2年10月1日現在、障がいのある児童は何人入所していますか。

・令和2年10月1日現在、障がいのある児童の入所について、「入所していない」との回答は47.2%、「2～3人」との回答が20.8%となっている。

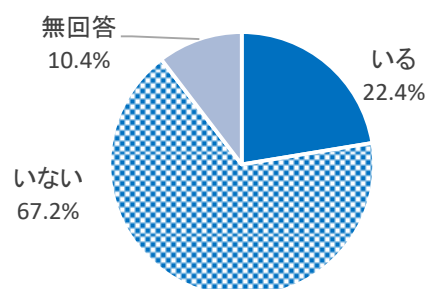
入所していない	59	47.2%
1人	22	17.6%
2～3人	26	20.8%
4人～6人	13	10.4%
7人～9人	2	1.6%
10人～	0	0.0%
無回答	3	2.4%



② 障がいのある児童のうち、医療的ケアが必要な児童はいますか。

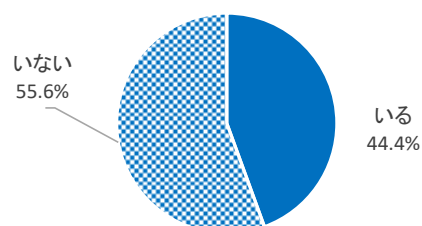
・障がいのある児童のうち、医療的ケアが必要な児童について、22.2%の施設が「いる」と回答している。

いる	28	22.4%
いない	84	67.2%
無回答	13	10.4%



※①にて障がいのある児童が入所していると回答した63施設について

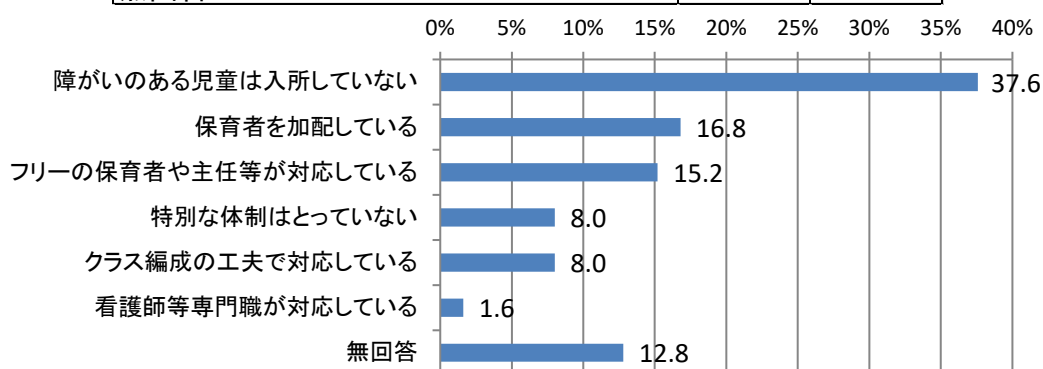
いる	28	44.4%
いない	35	55.6%



③ 障がいのある児童の支援のために、主にどのような体制をとっていますか。

- ・障がいのある児童の支援のための体制について、「保育者を加配している」との回答が16.8%で最も多く、「フリーの保育者や主任等が対応している」15.2%で続いている。

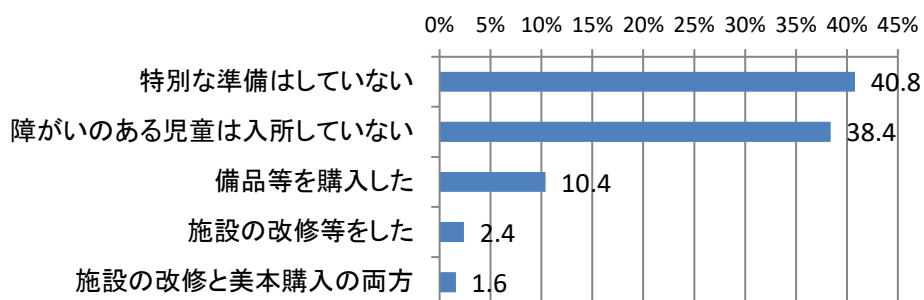
障がいのある児童は入所していない	47	37.6%
保育者を加配している	21	16.8%
フリーの保育者や主任等が対応している	19	15.2%
特別な体制はとっていない	10	8.0%
クラス編成の工夫で対応している	10	8.0%
看護師等専門職が対応している	2	1.6%
無回答	16	12.8%



④ 障がいのある児童の入所にあたって、ハード面で特別な準備はしましたか。

- ・障がいのある児童の入所にあたってのハード面での特別な準備について、「特別な準備はしていない」との回答は40.8%であり、準備としては「備品等を購入した」が10.4%で最多となっている。

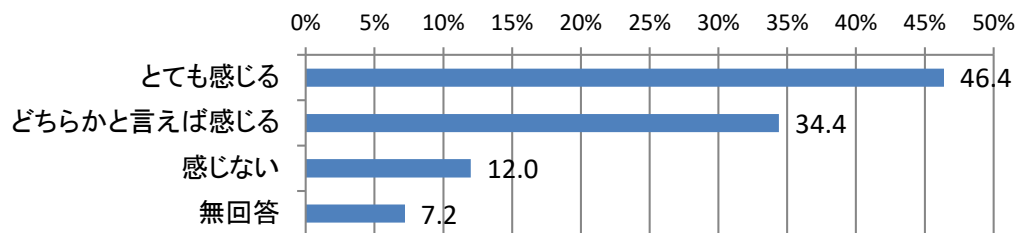
特別な準備はしていない	51	40.8%
障がいのある児童は入所していない	48	38.4%
備品等を購入した	13	10.4%
施設の改修等をした	3	2.4%
施設の改修と美本購入の両方	2	1.6%
無回答	8	6.4%



⑤ 障がいのある児童の受入人数は増加傾向にあると感じますか。

- ・障がいのある児童の受入人数について、増加傾向にあると「とても感じる」との回答が最も多く46.4%、「どちらかと言えば感じる」が34.4%で続いている。

とても感じる	58	46.4%
どちらかと言えば感じる	43	34.4%
感じない	15	12.0%
無回答	9	7.2%



⑥ 障がいのある児童の支援について、市への要望・意見等がありましたら自由に記載してください。

- 療育施設の充実と協力体制がとりやすい仕組みづくり
- 保育者用の相談窓口を設置してほしい
- 保育者の十分な加配や保健師等の常置ができるようにしてほしい
- 早期発見につなげるため、乳幼児健診のスパンを短くしたり回数を増やしてほしい
- 加配職員への専門的な研修をしてほしい 等

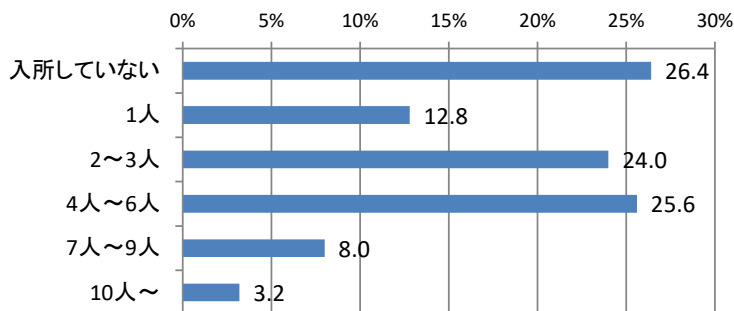
(2) 特別な支援を要する児童*についてお伺いします。

※障がいの診断は受けていないが、何らかの障がいや発達の遅れが疑われる児童で3-(1)-①以外の児童

① 令和2年10月1日現在、特別な支援を要する児童は何人入所していますか。

・特別な支援を要する児童の入所人数について、「4～6人」が25.6%と最も多く回答されている。

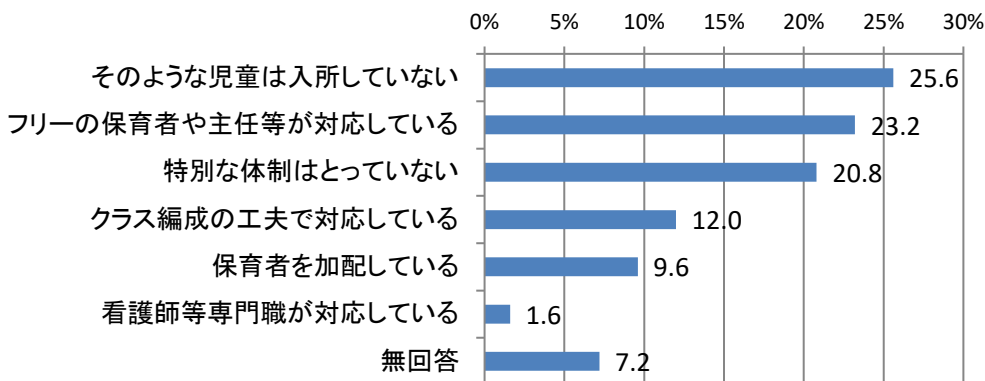
入所していない	33	26.4%
1人	16	12.8%
2～3人	30	24.0%
4人～6人	32	25.6%
7人～9人	10	8.0%
10人～	4	3.2%



② 特別な支援を要する児童の支援のために、主にどのような体制をとっていますか。

・特別な支援を要する児童の支援のための体制について、「フリーの保育者や主任等が対応している」が23.2%、「特別な体制はとっていない」が20.8%となっている。

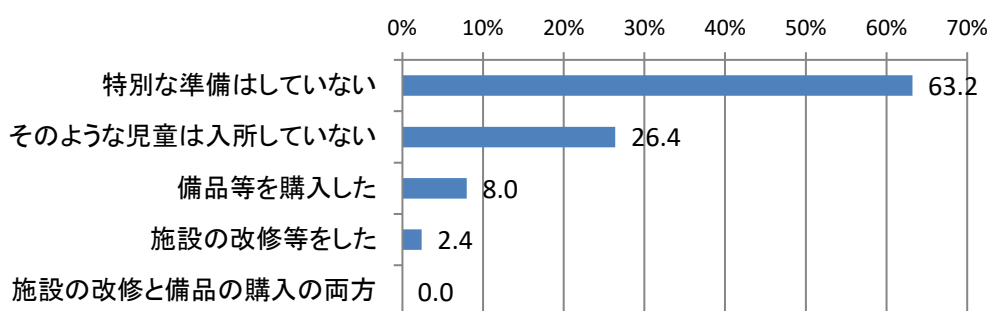
そのような児童は入所していない	32	25.6%
フリーの保育者や主任等が対応している	29	23.2%
特別な体制はとっていない	26	20.8%
クラス編成の工夫で対応している	15	12.0%
保育者を加配している	12	9.6%
看護師等専門職が対応している	2	1.6%
無回答	9	7.2%



③ 特別な支援を要する児童の入所にあたって、ハード面で特別な準備はしましたか。

- ・特別な支援を要する児童の入所にあたってのハード面での特別な準備について、「特別な準備はしていない」との回答は63.2%であり、準備としては「備品等を購入した」が8.0%で最多となっている。

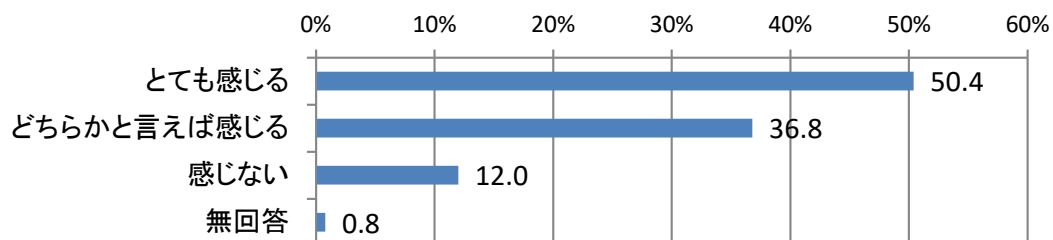
特別な準備はしていない	79	63.2%
そのような児童は入所していない	33	26.4%
備品等を購入した	10	8.0%
施設の改修等をした	3	2.4%
施設の改修と備品の購入の両方	0	0.0%



④ 特別な支援を要する児童の受入人数は増加傾向にあると感じますか。

- ・特別な支援を要する児童の受入人数について、増加傾向にあると「とても感じる」との回答が最も多く50.4%、「どちらかと言えば感じる」が36.8%で続いている。

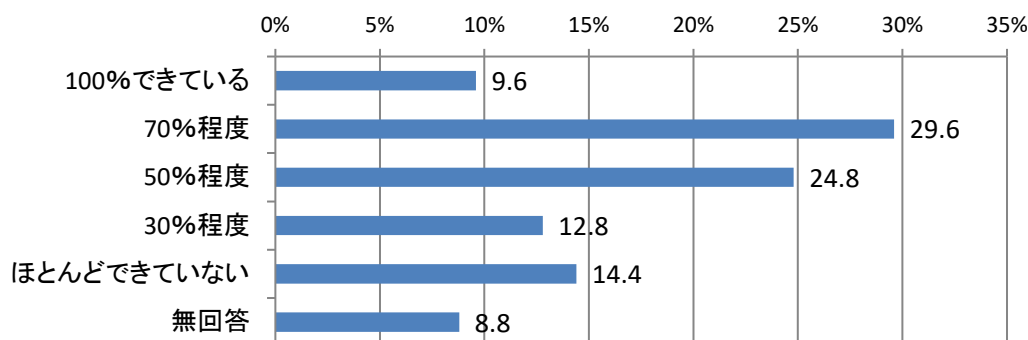
とても感じる	63	50.4%
どちらかと言えば感じる	46	36.8%
感じない	15	12.0%
無回答	1	0.8%



⑤ 特別な支援を要する児童の障がいや発達の違いが疑われる点について、保護者との程度の情報共有や相談ができていますか。

・特別な支援を要する児童の障がいや発達の違いが疑われる点について、保護者との情報共有や相談について、最も多い回答は「70%程度」できているが29.4%、「50%程度」できているが24.8%で続いている。

100%できている	12	9.6%
70%程度	37	29.6%
50%程度	31	24.8%
30%程度	16	12.8%
ほとんどできていない	18	14.4%
無回答	11	8.8%



⑥ 特別な支援を要する児童の支援について、市への要望・意見等がありましたら自由に記載してください。

- 就学時検診の前に4歳児検診を実施してほしい
 - 定期的に臨床心理士等専門家に巡回支援してほしい
 - 関係機関との連携や受診がスムーズにできるような仕組みづくりをしてほしい
 - グレーゾーンの子どもに対しても加配できるようにしてほしい
 - 気軽に相談できる窓口の設置や専門的な研修の実施をしてほしい
- 等

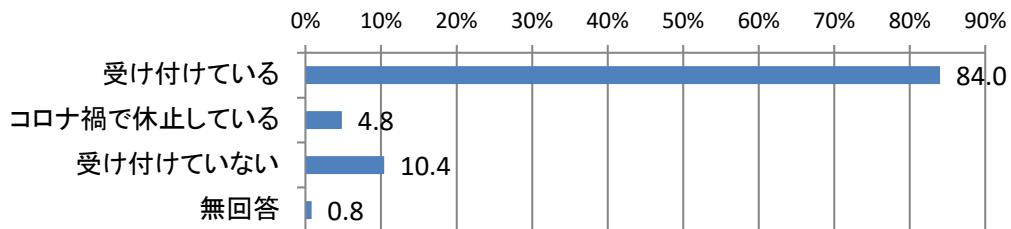
4. 子育て支援について

(1) **入所児童の保護者**に対する子育て支援の実施状況についてお伺いします。

① 子育てに関する相談を受け付けていますか。

・子育てに関する相談について、回答施設の84.0%が「受け付けている」と回答している。

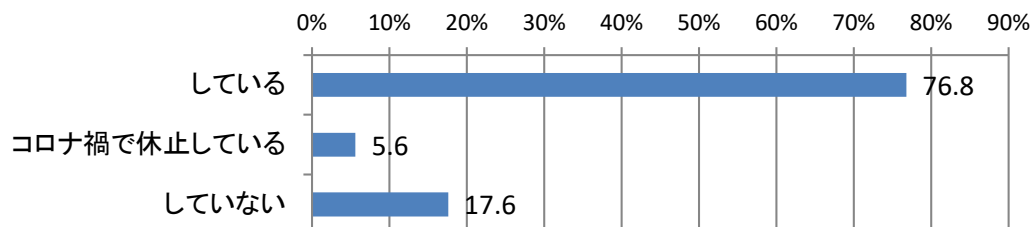
受け付けている	105	84.0%
コロナ禍で休止している	6	4.8%
受け付けていない	13	10.4%
無回答	1	0.8%



② お便り、掲示、Web サイト等で子育て情報の提供を実施していますか。

・お便り、掲示、Web サイト等で子育て情報の提供について、回答施設の76.8%が「している」と回答している。

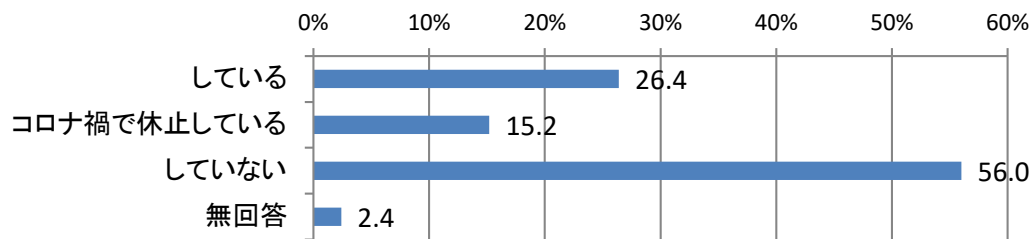
している	96	76.8%
コロナ禍で休止している	7	5.6%
していない	22	17.6%



③ 園庭の開放をしていますか。

・園庭の開放について、回答施設の26.4%が「している」と回答している。

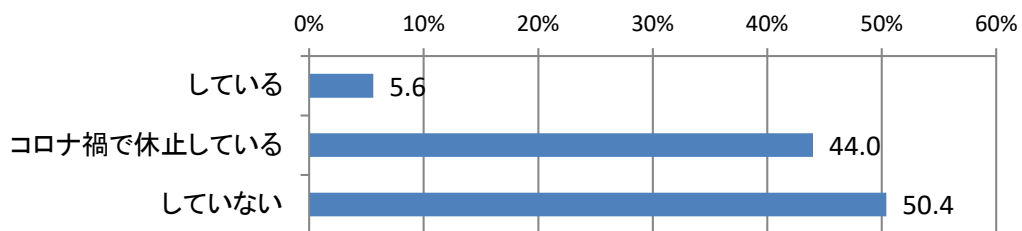
している	33	26.4%
コロナ禍で休止している	19	15.2%
していない	70	56.0%
無回答	3	2.4%



④ 子育て講座・講演会などを実施していますか。

・子育て講座・講演会などの実施について、回答施設の5.6%が「している」、44.0%が「コロナ禍で休止している」と回答している。

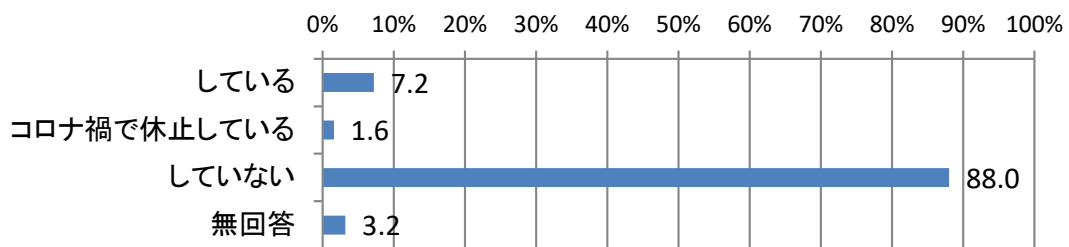
している	7	5.6%
コロナ禍で休止している	55	44.0%
していない	63	50.4%



⑤ 一時預かりを実施していますか。

・一時預かりの実施について、回答施設の7.2%が「している」と回答している。

している	9	7.2%
コロナ禍で休止している	2	1.6%
していない	110	88.0%
無回答	4	3.2%



⑥ その他、実施している入所児童の保護者に対する子育て支援がありましたら自由に記載してください。

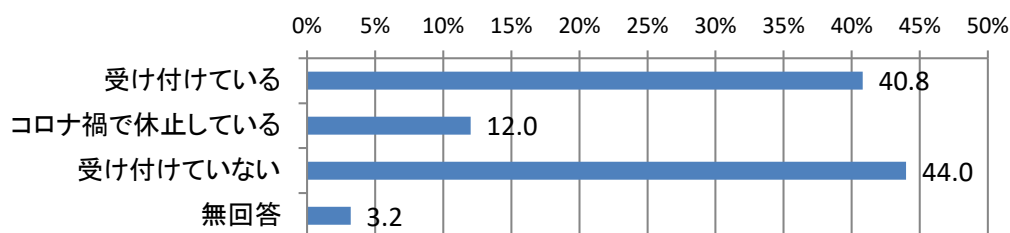
- 保護者からの意見は全職員で共有し、必要な対応を行っている
 - 支援を要する児童の個別面談を実施している
 - 日々なるべく多くのコミュニケーションをとるよう心がけている
 - 制作や自然散策などの親子ふれあい活動を行っている
- 等

(2) **入所児童以外の保護者(地域の子育て家庭等)**に対する子育て支援の実施状況について

① 子育てに関する相談を受け付けていますか。

・子育てに関する相談について、回答施設の40.8%が「受け付けている」と回答している。

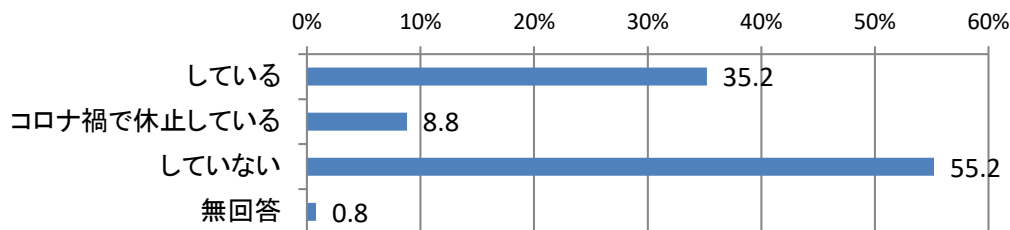
受け付けている	51	40.8%
コロナ禍で休止している	15	12.0%
受け付けていない	55	44.0%
無回答	4	3.2%



② お便り、掲示、Webサイト等で子育て情報の提供を実施していますか。

・お便り、掲示、Webサイト等で子育て情報の提供について、回答施設の35.2%が「している」と回答している。

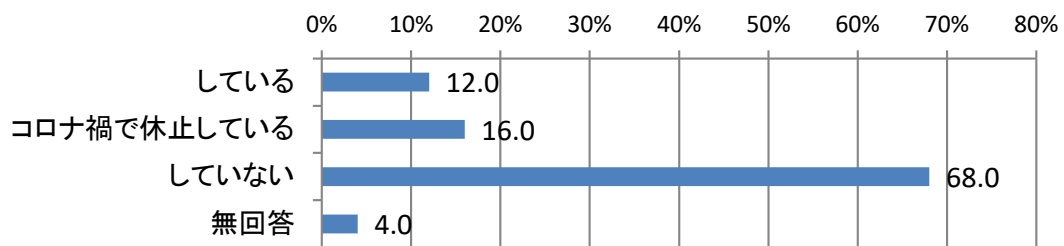
している	44	35.2%
コロナ禍で休止している	11	8.8%
していない	69	55.2%
無回答	1	0.8%



③ 園庭の開放をしていますか。

・園庭の開放について、回答施設の12.0%が「している」と回答している。

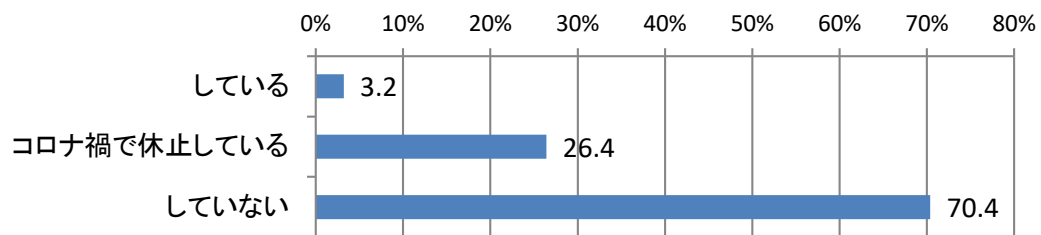
している	15	12.0%
コロナ禍で休止している	20	16.0%
していない	85	68.0%
無回答	5	4.0%



④ 子育て講座・講演会などを実施していますか。

・子育て講座・講演会などの実施について、回答施設の3.2%が「している」、26.4%が「コロナ禍で休止している」と回答している。

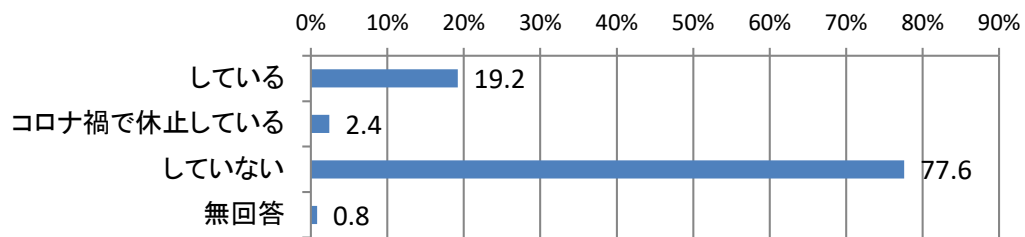
している	4	3.2%
コロナ禍で休止している	33	26.4%
していない	88	70.4%



⑤ 一時預かりを実施していますか。

・一時預かりの実施について、回答施設の19.2%が「している」と回答している。

している	24	19.2%
コロナ禍で休止している	3	2.4%
していない	97	77.6%
無回答	1	0.8%



⑥ その他、実施している入所児童の保護者に対する子育て支援がありましたら自由に記載してください。

- 離乳食体験を実施している
- 未就園児サークルを実施している
- 月に1、2回見学会を開催しその際に悩み相談を受けている
- 園の行事を掲示し参加を呼びかけている 等

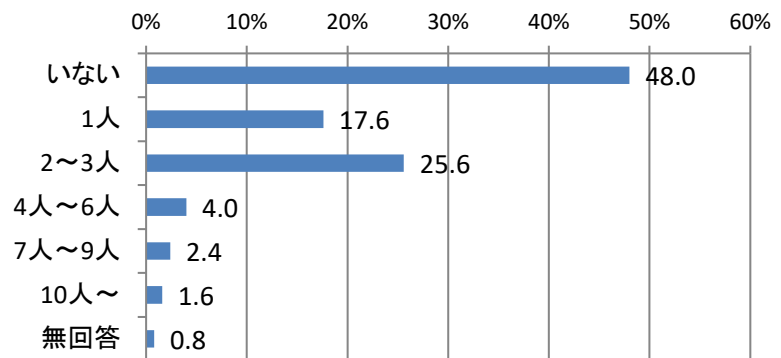
(3) 特別な支援が必要と思われる保護者*について

※子どもの栄養状態が悪い・無断欠席や遅刻が多い・子どもが不衛生・暴力や暴言の疑いがある・ネグレクトの疑いがある・しつけができていない・貧困などの理由により支援を必要とする保護者

① 特別な支援が必要と思われる保護者は何人いますか。

・特別な支援が必要と思われる保護者の人数について、「いない」との回答が最も多く 48.0%、「2～3人」が 25.6%で続いている。

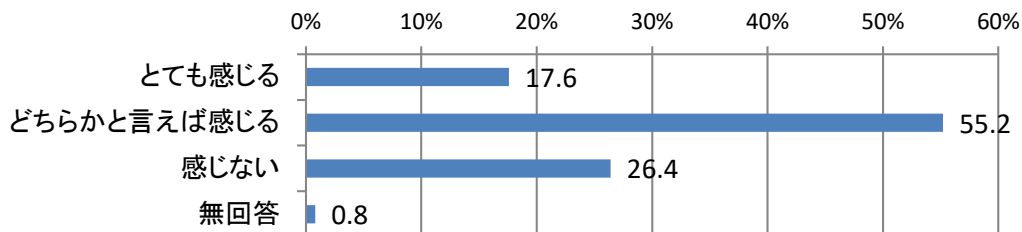
いない	60	48.0%
1人	22	17.6%
2～3人	32	25.6%
4人～6人	5	4.0%
7人～9人	3	2.4%
10人～	2	1.6%
無回答	1	0.8%



② 特別な支援が必要と思われる保護者の人数は増加傾向にあると感じますか。

・特別な支援が必要と思われる保護者の人数について、17.6%が増加傾向にあると「とても感じる」、55.2%が増加傾向にあると「どちらかと言えば感じる」回答している。

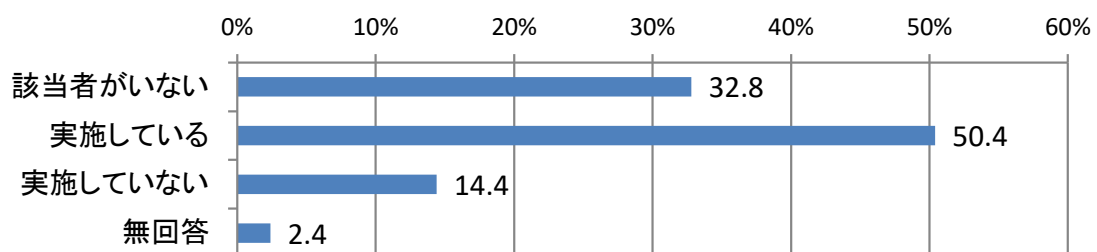
とても感じる	22	17.6%
どちらかと言えば感じる	69	55.2%
感じない	33	26.4%
無回答	1	0.8%



③ 特別な支援が必要と思われる保護者に対して、個別相談など何らかの支援を実施していますか。

- ・特別な支援が必要と思われる保護者への何らかの支援について、50.4%が「実施している」と回答している。

該当者がいない	41	32.8%
実施している	63	50.4%
実施していない	18	14.4%
無回答	3	2.4%



④ 特別な支援が必要と思われる保護者の支援について、市への要望・意見等がありましたら自由に記載してください

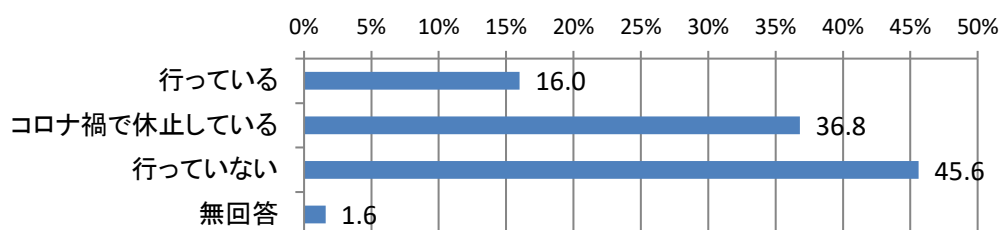
- 保護者からの声があがれば行政等につながやすいが、あがらない場合は難しい
- すぐに相談できる体制を整えてほしい
- 支援が必要と思われる保護者へのかかわり方を具体的に学べる機会があるとよい
- 生活の安定を図ることができるような施策を進めてほしい 等

(4) 地域のお施設・団体等との連携や交流について

① 近隣の小学校と連携や交流を行っていますか。

- ・近隣の小学校と連携や交流について、回答施設の16.0%が「行っている」、36.8%が「コロナ禍で休止している」と回答している。

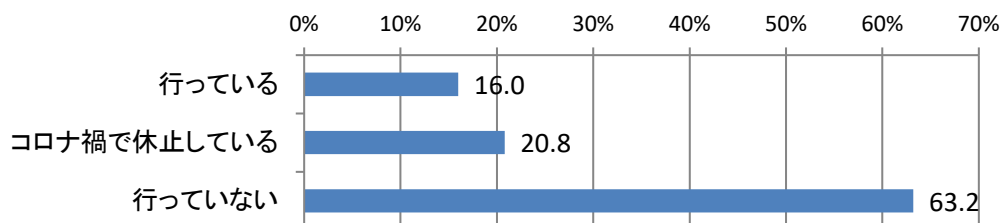
行っている	20	16.0%
コロナ禍で休止している	46	36.8%
行っていない	57	45.6%
無回答	2	1.6%



② 近隣の保育施設や幼稚園と連携や交流を行っていますか。

- ・近隣の保育施設や幼稚園との連携や交流について、回答施設の16.0%が「行っている」、20.8%が「コロナ禍で休止している」と回答している。

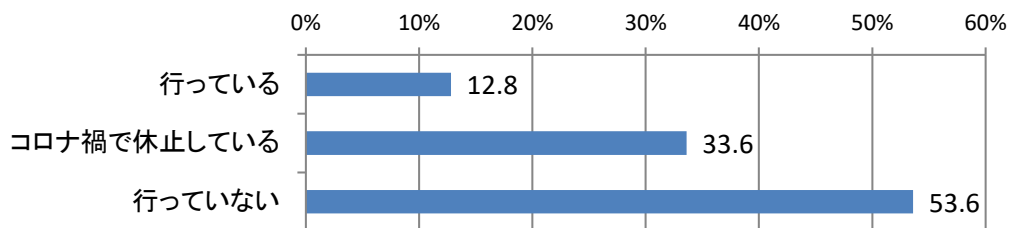
行っている	20	16.0%
コロナ禍で休止している	26	20.8%
行っていない	79	63.2%



③ 近隣の公共施設(行政センター、公民館等)と連携や交流を行っていますか。

- ・近隣の公共施設(行政センター、公民館等)との連携や交流について、回答施設の12.8%が「行っている」、33.6%が「コロナ禍で休止している」と回答している。

行っている	16	12.8%
コロナ禍で休止している	42	33.6%
行っていない	67	53.6%



④ その他連携や交流を行っている地域の施設・団体等がありましたら自由に記載してください。

- 老人保健施設との交流を行っている
- 中学生の職場体験を受け入れている
- 保育士養成校との連携や情報交換の必要性を感じている 等

⑤ その他、本市における保育・幼児教育について、何かご意見等があれば自由に記載してください。

- 郡山のビジョンを示し安定的な運営が見通せる施策が欲しい。
- 何事も子ども達のことを最優先に考えて頂きたい。その次に保育者、設置者や保護者はその後で良いと思います。
- 研修への取り組みもかなり消極的、市としても支援の必要なお子さんへの細やかな配慮なども郡山は遅れていると思う。
- 少子化の現状、市は中・長期的なプラン、考えがあるのか疑問。認可施設を増設すれば良いのではなく保育の質の向上や、良い保育サービスをどう提供していくかを真剣に検討すべき。 等